

# 日中友好協会 八王子支部 ニュース



みんなで参加・多彩な活動！ 広げよう・大きな“わ”！ 佐藤副支部長：FAX:042-645-8415

## 日中両国関係の前向きな打開のために —2023. 3. 30 日本共産党が岸田首相に手渡した提言から—

昨年未だに「安保関連3文書」改定が閣議決定され、中国を標的にした「敵基地攻撃能力」が急速に現実味をおびてきました。本当にこのまま、日本と中国は険悪な軍事拡大の危機的状況に突き進むのか、日中友好・不再戦を望んで、協会に集まっている私たちにとっては最大の関心事であり、なんとか打開の方策はないものかと、思っていた矢先の3月30日、日本共産党が表題のような提言を発表しました。

この提言は、日中両国の間には、次の三つの点で、平和と友好に向けた共通の土台が存在することを踏まえ、それを生かした外交努力をはかることで平和と友好を確かなものにしていこうと、日中両国政府に呼び掛けたものです。

第1は、2008年5月7日、福田康夫首相と胡錦濤主席の日中首脳会談で交された「『戦略的互惠関係』の包括的推進に関する日中共同声明」で、「双方は、互いに協力のパートナーであり、互いに脅威とならないことを確認した」。

このことは、その後の日中首脳会議でも、一貫して繰り返して確認されています。

第2は、尖閣諸島の問題です。2014年11月7日に行われた「日中関係の改善に向けた話し合い」で合意が確認された4項目のうち、3項目目に、「双方は、尖閣諸島等東シナ海の海域において近年緊張状態が生じていることについて異なる見解を有していると認識し、対話と協議を通じて、情勢の悪化を防ぐとともに、危機管理メカニズムを構築し、不測の事態の発生を回避することで一致した」と、対話と協議を通じて問題の解決を図ることを確認したのは、道理ある方向です。

第3は、日本と中国の双方が参加する多国間の平和の枠組みを発展させる方向で、両国政府間に一致点があることです。

東南アジア諸国連合(ASEAN)は、ASEAN10か国に8か国が加わった「東アジアサミット」(EAS)を平和の枠組みとして発展させ、ゆくゆくは東アジア規模の友好協力条約を展望するという構想—「ASEANインド太平洋構想」(AOIP)を提唱しています。これには日中両国政府も含めて、「東アジアサミット」に参加するすべての国が賛意を示しています。

\*ASEAN：タイ、インドネシア、シンガポール、フィリピン、マレーシア、ブルネイ、カンボジア、ラオス、ミャンマー、ベトナム

\*EAS：ASEAN10か国、日本、中国、米国、韓国、ロシア、オーストラリア、ニュージーランド、インド

このように、日中両国政府の間には、三つの点で、平和と友好に向けた共通の土台が存在しています。この共通の土台をあらためて確認し、その上にたった外交的努力によって、平和と友好の関係を確かなものにしていくことが、日中両国政府の共通の責任ではないでしょうか。日中両国間に存在する紛争・緊張・対立を解決し、両国関係の前向きな打開をはかることを求めるものです。

以上が、日本共産党の提言の要約です。これについて、現実の国際社会においては、対話と協議だけによる解決は容易ではないが、そこに向かう努力こそが大切で、目指すべき方向性を掲げていることは素晴らしいと共感の声も上がっています。



岸田文雄首相(左)に申し入れを志望する副委員長(右) 30日 国会内

# 「731部隊」覚え書き⑧

## ロ号棟で行われていたこと

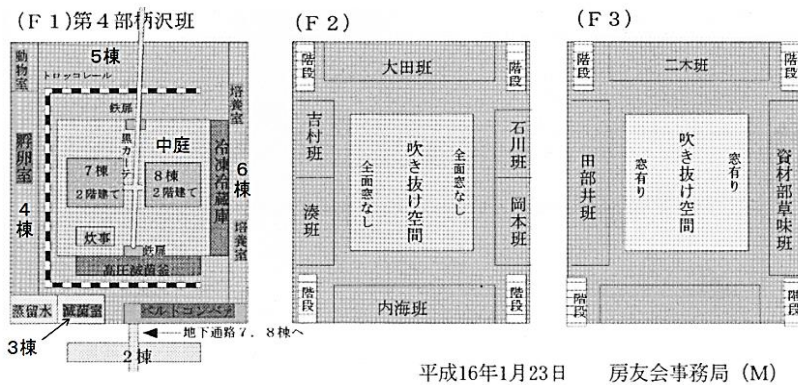
五井 信治

731部隊の中心施設は、ロ号棟でした。このロの字型の建物の中ではどんな研究が行われたのでしょうか？ジャーナリストの近藤昭二さんの作成した『731部隊の編成表』によると、731部隊の第1部では、基礎研究が行われ、その課の一部は、ロ号棟にありました。

その基礎研究の課を列記すると、

|     |         |        |      |     |       |
|-----|---------|--------|------|-----|-------|
| 第1課 | 腸チフス    | 田部井叶   | 第10課 | 血清  | 秋元寿恵夫 |
| 第2課 | コレラ     | 湊正男    | 内海班  | 血清  | 内海薫   |
| 第3課 | 生理・捕虜管理 | 吉村寿人   | 小滝班  | 結核  | 小滝秀雄  |
| 第4課 | 赤痢      | 江島新平   | 第11課 | 結核  | 二木秀雄  |
| 第5課 | ペスト     | 高橋正彦   | 肥野藤班 | 脾脱疽 | 肥野藤信三 |
| 第6課 | 病理      | 岡本耕造   | 樋渡班  |     | 樋渡喜一  |
| 石川班 | 病理      | 石川太刀雄丸 | 降旗班  | ペスト | 降旗武臣  |
| 第8課 | 病毒      | 笠原四郎   | 大田班  | 脾脱疽 | 大田澄   |
| 第9課 | 水棲昆虫    | 朝比奈正二郎 | 貴宝院班 | 天然痘 | 貴宝院秋雄 |

### ロ号棟明細図



いろいろな病原菌の研究を進め、どれが生物兵器として実戦に使えるかを研究しました。

ロ号棟は、診療部・総務部のあった2棟の奥にあり、3階建てでした。2棟の奥が3棟、時計回りに4棟、5棟、6棟とあり、その取り囲んだ中庭には、人体実験をされる人々（「マルタ」と呼んだ）が收容されていた7棟、8棟の建物がありました。ロ号棟は3階建てで、1階に

第4部の細菌製造の柄沢班が、細菌を製造していました。主に、ペスト菌、コレラ菌などの細菌を製造し、トロッコレールやベルトコンベア、卵卵室、培養室、滅菌室、高圧滅菌釜、冷凍冷蔵庫などがありました。

2階、3階は、研究室になっていました。2階には、血清の内海班、コレラの湊班、凍傷、捕虜管理をしていた吉村班、脾脱疽の大田班、病理の石川班、岡本班などがあり、3階には、チフスの田部井班や結核・性病を研究する二木班、資材部の草味班がありました。

731部隊の建築班に属した人が、ある時、3階の資材部に行った時の証言を紹介します。

### 生首

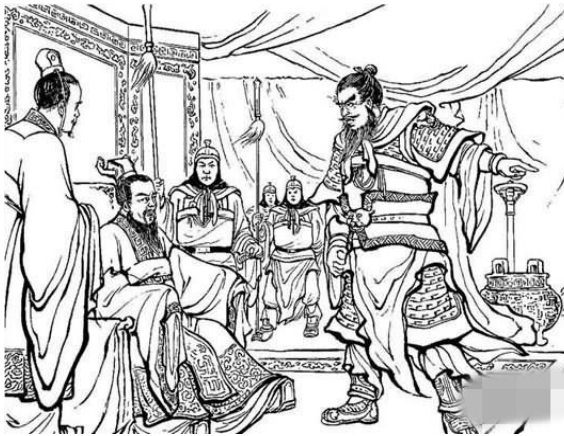
「あるとき、6棟の3階に研究資材を運んで行ったことがありました。ある部屋を通りかかったときその部屋の扉が開いていたので何の気なしに中に入ったのです。そこにはたくさんのガソリン缶が積んでありました。150個ほどあったと思います。何が入っているのかと1つの缶を揺すって見たところ、何か固いものが缶にぶつかる音がしました。後になってそれは実験用の人の頭だと聞かされ、それから2度とその部屋に入る気にはなりません。もしも全部の缶に首が入っていたとしたら、大変な数であったと思います。」

(『細菌戦部隊』晩聲社 p132 より)

7棟・8棟に收容された人々を、いろいろな実験に使い、死んだら、それをホルマリン漬けにして、展示するか、生首をガソリン缶に入れて、保管していたのではないかと思います。

それらの一部は、東京の陸軍軍医学校にも、運ばれたのではないかと思います。731部隊と新宿にあった陸軍軍医学校は、頻りに連絡を取り、731部隊の飛行場から東京の立川飛行場の往復は、かなりあったようです。戦時中、医学者たちは、戦争に勝つために、このようなことを行い、協力していました。





黄祖は襄陽に戻って劉表に会い、孫堅の兵力は強大で、抵抗しきれなかったと報告した。劉表はこれを聞くと慌てて、蒯良を呼んで相談した。(三国志演義連環図より)

(熊谷けやき総合法律事務所)

し、孫堅軍を疲弊させようと考えた。つまり、黄祖は配下を休ませ、孫堅軍の偽計の夜襲をそのまま放置して孫堅軍のみを疲弊させようとした。

黄祖の見込み通り、孫堅はその夜も篝火を焚いて、黄祖軍に近づいてきた。黄祖は、わずかの配下のみを残して見物しようと考えた。しかし、孫堅軍はこの夜は、小舟に兵を潜ませ一気に対岸に上陸し、黄祖軍に奇襲を仕掛けた。この夜は、孫策の活躍もあって、孫堅軍が大勝したのであった。

孫堅の侵攻に備え、劉表は国中の兵を集め沿岸に防備陣を敷いて孫堅を待ち受けた。孫堅を待ち受けていた第一線の大將は江夏城の城主の黄祖であった。黄祖は、孫堅軍の船団が接近すると矢を放ち、孫堅軍の船団もこれに応じた。孫堅は精鋭部隊を上陸させようと試みたが黄祖の堅守に阻まれいったん上陸部隊を引き上げさせ、部隊を後退させた。

孫堅は、一計を案し、小舟に篝火を焚き、船頭のみを黄祖軍に近づけることとした。夜襲と見せかけ、黄祖軍の体力を奪う作戦に出ることとしたのである。

孫堅はこれを7晩続けた。黄祖軍は対応せざるを得ず、篝火が見えると夜襲と勘違いし、矢を射かけた。黄祖軍の兵は疲れからか、集中力が散漫となり日中からうたた寝をする者が出てきた。黄祖は部下から陣中に矢が乏しくなってきたことこの報告を受けた。ちょうどそのころ、黄祖軍は流れ着いてきた孫堅軍の小舟を発見した。そこには、船頭の遺体のほかは松明が篝火の後のみであった。これを見て黄祖軍は自軍が孫堅軍の策に嵌っていたことを理解したのであった。

しかし、黄祖は、孫堅がそのような策を案じたのであれば、逆にこれを利用して、孫堅軍を疲弊させようと考えた。つまり、黄祖は配下を休ませ、孫堅軍の偽計の夜襲をそのまま放置して孫堅軍のみを疲弊させようとした。

2023.4.2 聖蹟桜ヶ丘拓魂公園



八王子も多摩も市議選を控え忙しいなか、4年振りの開催です。最年少16歳から最長老96歳。八王子支部から9人、多摩支部5人、本部から井上会長がビールを背負って参加くださいました。花曇りのなか、拓魂碑にお参りし、桜が丘公園へ。



飲んで食べて歌ってしゃべって、またたくまに楽しいときは過ぎていきました。



「サクソフの守歌」を歌う鹿島さんとギターのはらさん





山越拓児さんの  
世相を映す替え歌⑳

「とめよう大軍拡」  
～「さくら」(森山直太朗)～

♪僕らはずっと守りたい  
平和憲法9条  
なのに総理が旗を振り  
改憲叫ぶよ  
敵基地攻撃能力を  
保有すると宣言  
専守防衛の原則を  
覆す憲法違反

長射程のスタンド・オフ・ミサイル  
大量配備を狙う  
安保法制 発動すれば  
アメリカの起こす戦争に参戦  
自衛隊の 先制攻撃で  
報復攻撃呼び込むことに

♪今ならくいとめられる  
空前の大軍拡  
暮らし・福祉の削減も  
大増税も  
自民・公明 補完勢力  
軍拡を急かすけれど

いのち 暮らし ただ守りたい  
政権交代の瞬間(とき)を信じ  
キシダ総理今国民の信を問え  
大軍拡を勝手に決めるな

♪平和 いのち 暮らしを守る  
大同団結を つくりましょう  
キシダ自公政権に審判を  
統一地方選のときに



3月12日(日)13:30  
アミダステーション2階

国民党とともに台湾に去った夫が40年振りに帰ってきた。台湾でいっしょに暮らそうという。息子も娘も大反対、寄り添って生活を共にしてきた再婚の夫は「いいよ」というが本音は？ その夫が倒れ台湾行きは見送られた。

その後、再開発の立ち退きで下町から高層マンションに引っ越すが、いままで入り浸っていた息子や娘の家族は、父親の誕生日にも言い訳をつくって来ない。家族の絆ってなに？ (中道)



第93回

NO WAR! 八王子アクション

2023年4月23日14:00～ JR八王子駅北口

《日中友好協会八王子支部日程》

- 4月26日(水)10:00～ 八王子支部理事会 (アミダステーション)
- 5月28日(日)10:00～ 八王子支部理事会 (アミダステーション)
- 13:30～ 映画会「ココシリ」&青蔵鉄道建設の話
- 6月25日(日)10:00～ 八王子支部理事会 (アミダステーション)
- 13:30～ 聊聊天会「漢方のはなし」

八王子支部ホームページ <https://nittyuyukohachioji.web.fc2.com/>



海拔4700メートルの厳しい自然の中で、絶滅の危機に瀕する千ベツトカモシカの密猟者との闘いに命をかける山岳パトロール隊がいた。

監督:陸川(ルー・チュアン)

2004年制作

日中友好新聞は、東北アジアの平和に役立つ確かな情報と中国の文化・歴史の豊かな情報を持つ、月2回発行のタブロイド判8Pの新聞です。嫌・反中報道が溢れる中、公正・中立な報道をしています。ぜひご購入下さい。

1ヶ月550円(送料込み) 購読申込 042-645-8411:佐藤